

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：伊澤和男 副会長：小川秋實 幹事：宮澤友浩

	<p>2016-2017 国際ロータリーのテーマ 人類に奉仕するロータリー ROTARY SERVING HUMANITY</p> <p>2016-2017 RI会長 ジョン F. ジャーム 米国(テネシー州)</p>	
<p>第1390回例会 平成29年2月28日(火)</p>		

■ 点 鐘 18:30

■ ソング 翔け 中央ロータリー 原誠ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 ・名誉会員 伊那市長 白鳥孝様

■ 会長談話 伊澤和男会長



本日は橋場正尚会員「旭日双光章」受賞祝賀会を控えての例会ということで、誠におめでとうございます。先日2月18日(土)には南箕輪村創立記念日ということで、昨年の中川年度大芝公園内野鳥看板設置に対し、表彰状を頂きました。次回の例会で巡回させて頂きます。丁寧な表彰で痛み入りました。

さて、お手元の資料のように今年3月17日(金)は伊那西高等学校で1～2年対象に職業、社会奉仕委員会による当クラブ網野会員の出前講座が開催されます。参加生徒数も300名以上と井上委員長の大変な努力で我々も沢山出席しようと先の理事会で例会扱いとすることに決定しました。是非沢山の出席をお願い申し上げます。

■ 幹事報告 宮澤友浩幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・3月17日(金) 出前講座の開催案内 井上修職業・社会奉仕委員長



網野裕美会員による「出前講座」が、3月17日(金)9時30分～11時まで伊那西高校に於いて行われます。先程の理事会において出前講座の詳細を連絡させて頂き、当日の講座を例会扱いさせて頂くよう決済させて頂きました。会員皆様ご参加ください。

■ ニコニコボックス

◆橋場正尚会員より 30周年に使って下さい。

◆伊澤和男 本日は橋場正尚会員「旭日双光章」受賞おめでとうございます。
市長ご出席ありがとうございます。

◆宮澤友浩 橋場会員「旭日双光章」受賞おめでとうございます。これからもお身体どうぞご自愛頂きたいと思います。

◆三澤耕太 橋場先生、本日は誠におめでとうございます。祝賀会は最後までお過ごし下さい。

◆唐澤敏治 橋場正尚会員の「旭日双光章」受賞 心から御祝い申し上げます。益々のご活躍を御祈り致します。

◆熊谷健 橋場先生「旭日双光章」受賞おめでとうございます。橋場先生を目標に私も日々精進して、仕事に、ロータリーに、頑張りたいと思います。

◆倉田秀伸 昨年の母の葬儀にはお世話になりました。また、春には医院を新築しました。さらに10月に心臓のバイパス手術から生還しました。皆さんのおかげかしら？

◆井上修 嬉しい事が3件ありました。

①網野会員の出前講座が決定、例会扱いになりました。

②59期定期株主総会が終了しました。

③ロータリーの名刺を作って頂きました。名刺交換したい人は来て下さい。

◆池田幸平 小冊子82ビジネススクエア「経営者に聞く」で、井上さんの“困難に直面した時こそ読んでほしい本が沢山あります”を読み感銘しました。でも、カラオケで挫折した井上さんが読む本も沢山ありますよ。

◆清水吉治 この度のフルートアンサンブル演奏会では、メンバーの諸氏にはお世話になりました。500名余の皆様にご来場いただく事ができました。次回も宜しくお願い致します。

■ 出席報告

会員数42名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席率100% 前回出席率修正なし

■ 点 鐘

18:50

橋場正尚会員「旭日双光章」受賞祝賀会



進行：藤澤健二親睦活動・友好副委員長

1. 開会の辞 小川秋實副会長



昨年秋の叙勲で、当クラブの橋場正尚会員が旭日双光章を受章されました。ご本人はもとより、当クラブにとりましても大きな喜びです。お集まりの皆様で、お祝いをいたしたいと思います。

実は、私も8年前、叙勲で瑞宝章を受章し、当クラブでお祝いをしていただき、大変光栄に思いました。叙勲は、国が功労者に勲章を授けることで、旭日章は、いちじるしい功績を挙げた者に授与され、瑞宝章は、公務員として長年従事した者に授与されます。

受章して戴けるものは、勲章と勲記です。勲章は、造幣局で製造された七宝焼きです。勲記は、勲章を与えるという証書で、国璽(国の印章)が押されています。受章しても、いかなる特権もなく、賞金も年金もありません。ただし、一回限りですが、皇居に入り、天皇陛下に拝謁できます。これは大きな名誉だと思います。それでは、心温まる祝賀会になることを願って、開会の挨拶といたします。

2. 会長挨拶 伊澤和男会長



橋場正尚会員この度は秋の叙勲に依り「旭日双光章」受章、誠におめでとうございます。

また名誉会員であります伊那市長白鳥孝様、多忙の中での御参加を頂き、有難うございます。

橋場先生の御経歴は既に皆さん御存知の通りであります。半世紀以上にわたり地域住民の歯を高度経済成長の真ただ中、嗜好品が登場し子ども達の虫歯が急増した時代、大切な歯を守り続け歯科医師会の要職も長年務め尽力いたしました。それにも増して我々RCでは数少ないチャーターメンバーとして10周年では会長として、伊那西高校IACを創立し今日の輝かしい活動の源として、またコンピューター教室を開いたりしてくれたり、趣味の手品は全国中継のテレビショーに出演する程の腕前で、事あるたび我々にも楽しいショーを見せてくれました。写真も大変なもので先日もテレビの特番で放送され話題を折々提供してくれます。常に笑顔を絶やさない本当に穏やかな姿勢は私たちの見本です。

これからも大先輩として私共後輩をご指導頂ければと存じます。私達も先生の背中から学びたいと思っております。伊那中央RCといたしましても、平成21年の小川先生の受章を併せ2人の受章ということで歡喜に堪えません。

これを機に更に御活躍されますこと、また奥様共にお元気に過されますことを願って挨拶とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

3. 来賓祝辞 名誉会員・伊那市長 白鳥孝様



橋場正尚さんの叙勲受賞祝賀会が盛大に開催されますことに、お祝いを申し上げるとともに、この晴れやかな祝賀会にお招きいただきましたことにお礼申し上げます。この度の「旭日双光章」のご受章、誠におめでとうございます。この度の受章は、長年にわたり地域の歯科保健衛生の普及向上に尽力されたご功績によるものであります。伊那市といたしましても、大変誇りに思うところでございます。昭和37年にあら

らぎ歯科医院を山寺に開業され、以後、実に55年間にわたり地域の歯科医療を支えていただいております。多忙な中、乳幼児の歯科検診等、市の保健衛生行政への協力を惜しまず、また、学校医としても40年間、ご指導いただきました。

上伊那歯科医師会会長、長野県歯科医師会理事等の要職を歴任され、伊那分院歯科衛生士学科開設当初の昭和44年より講師として歯科衛生士の育成、職域の開拓、地位の確立のために大変なご尽力をされています。昭和53年上伊那口腔センターの開設、休日の緊急歯科診療の実現では、重要性をいち早く説き、上伊那歯科医師会の代表として、先見性と粘り強い行動力をもって任にあたられました。

多彩なご趣味をお持ちで、マジックや写真撮影等の講師として活躍され、また、伊那公民館振興会長、公民館運営審議会副会長等を長年お務めいただき、地域の活性化に大きく貢献していただいております。温厚にして円満、人間愛に満ちたお人柄は多くの市民が慕うところでもあります。奥様の内助の功も大変大きいものと存じます。今後とも奥様ともども、健康にご留意いただき、歯科医として、地域の芸術文化のリーダーとして、ますますご活躍いただけますようご祈念申し上げます。

4. 会員祝辞 下井達典会員



橋場会員の叙勲、受賞にあたり、そのお背中を見つめ、追ってきたロータリーの後輩会員の一人として心より御慶びを申し上げます。祝辞を申し上げるには甚だ役不足の私ですが、一後輩会員が観た橋場会員の人となりや旧聞も含めて勝手に御紹介させて頂き、御祝いに添えたいと存じます。以降は日頃呼びなれている「橋場先生」「先生」あるいは「会長」と呼ばせて頂きます。

先生は伊那中央ロータリークラブの昭和62年5月の創立時にも、チャーターメンバー31名のお一人として加わっています。

平成8-9年度には第10代のクラブ会長を担当されました。創立10年目という事で地区からは記念事業を求められ上伊那分区初めての「新IAC提唱設立」と決まりました。候補の学校が重要でした。それ以前の経緯から幾つかの学校名が上がっていましたが、会長の御判断により伊那西高校さんとなりました。その後の歩みを振り返ると実に適切な学校選択であった事が判ります。クラブとしてもIAC自体がよく解らず手探りで取り組んだのですが、思慮も深くいつも沈着冷静な橋場会長のご指導の下で何とか事が進み、平成9年3月に伊那西高校さんにIACが誕生しました。伊那西IACの特別代表と申しますか生みの親は橋場先生であります。そのIACも今年創立20年を迎えます。

伊那西さんのIACは生まれましたが、インターアクト地区大会のホストが平成12年に回ってくる事になりました。ロータリー側実行委員長さんは設立の経緯もあって橋場先生がお引き受け下さいました。大会は高遠少年自然の家さんを借り切って会場としました。

1年前から準備を重ねいよいよ当日を迎えました。当クラブも無論、伊那西さんも初めて主催する地区レベルの行事であった事、この大会の参加者数は毎年160人程度でしたが、この時は地区内から若麻績ガバナーを始めガバナーと名のつく方5名を含む参加者が320名と過去最大になっていた事、多くの準備作業も総て手作りでしたがこれが機能するののかの不安、等々で開会式前は緊張でカチカチになっていました。当時のその緊張を看ておられたのでしょう橋場先生は、開会式の中で次のような当意即妙挨の挨拶をされました。

曰く「登山家が高い山に登るために、気圧の変化による高山病という病にかかるそうです。

この病を防ぐためにあることをします。いったい何をするのでしょうか」と会場の生徒に問いかけました。

「答えです。登山の途中で食事や宿泊など休憩する場合、その場で行わず、いま上って来た道を麓に向かって引き返すそうです。これが登って来た距離の約3分の1くらい、時には半分くらい下った地点で休憩します。そしてまた同じ道を登り頂上を目指します。ずいぶん無駄で損な行動に見えますね。しかしこれが高山病にかからない秘訣だそうです。すなわち体を気圧の変化に徐々に慣らすと言うことです。ところでこの秘訣をロータリーの奉仕の精神に当てはめてみましょう。還元という行動です。進むだけではいけません。一歩後退二歩前進、この精神が必要です。(中略)お金も知識もただ自分が貯め込むだけでは高山病にかかります。この一部を社会に還元してこそ次の前進が約束されます。後略」のお話を力強くゆつくりとした口調で話されました。

伊那西生徒、顧問の先生、私達幹事団はそれまで来賓各位の堅い御挨拶でますます固くなっていたのですが、この当意即妙で柔らかい御挨拶を聞いた後は、生徒達には笑みも戻り其の後はスムーズに進み始めました。一つの言葉で雰囲気が一変し、まるで一場の手品を観たように思いました。タイミングの重要性、言葉の力強さを目の当りにしました。

この大会は関係者から、それまでの地区大会の在り方を一変させ今後のモデルになったと高評価を享けましたが、その源はあの御挨拶に在ったと私は今でも確信しています。

この大会の分科会で橋場先生は手品マジックをIA生に教えました。先生は伊那マジッククラブ立ち上げのお一人です。多くの人に愉しんでもらいたい、としてマジックの普及にも注力されました。当クラブでも会員に愉しんでもらいたい、と年末家族会や納涼例会で、水谷今朝弘会員や、伊藤権司元会員と共に先生の妙技を御覧になった会員も多いと思います。

マジックもそうですが先生は進取の氣象に富む方です。今から20年ほど前、IT化もパソコンも未だ未だ普遍的でなかった頃、先生はクラブ内でパソコン同好会を立ち上げました。ロータリーや会員の将来のIT化の波を先取りする意図もあったと思いますが、この同好会がパソコンの入り口になった会員も居られると思いますし、毎週印刷していたクラブ会報のホームページ化にも道を拓いたと思います。

進取は現在写真に及び、その作品はNHKの「イブニング信州のコーナー」で時折放送され観る事ができます。

私は新IAC設立、IAC地区大会ホストとも現場担当を務めました。ロータリーもIACにも知識に乏しく五里霧中で進めたのですが、ややもすれば事を見失う事態が何回もありました。原因は私の力不足と判断の悪さです。先生は多分ひやひやししながら観て居られたのではないかと思います。ですが、いつも沈着冷静で物事の本質を理解されている先生の御陰で救われ目標成就となりました。

穏やかで言葉少ない先生ですが、未熟な私にはそのお背中や振舞から訓えられた事が数多く有りました。現在はクラブ最古参のお一人となっていますが、今後もお元気なお姿を私ども後輩会員に見せて頂き、そのお背中から教えていただきたいと願っております。

先生、奥様ともどもに益々の御健康と御活躍を祈念申し上げ御祝いとさせていただきます。

此の度は真におめでとうございました。

「元事務局員の足立さんから、このお花を先生にお渡ししてほしい、と言付かっています」

5. 記念品贈呈 伊澤和男会長



6. 受賞のことは 橋場正尚会員



昨年の秋の叙勲で、思わぬ「旭日双光章」を頂きました。皆様方には過分なお祝いのお言葉や記念品を頂き恐縮しています。また祝賀会まで企画して頂き、改めてお礼申し上げます。

叙勲につきましたは、永年に渡り保健衛生に尽力されたとありますが、正直、自分では何もそれに値する功績も残した記憶がないわけですが、振り返ってみますと、業界(歯科界)において、永年役職など仰せつかって来ました。

その間、伊那市においては歯科保健センターを設立し、市民の検診や保健指導など、また上伊那地区での日曜当番医制度も儲けたりです。

また県立公衆衛生学校の歯科衛生士学科の伊那への誘致や講師なども務めて来たわけですが、これも自分個人でなく、先輩の指導や後輩の協力があったからこそのものであります。

叙勲はそれら全員に与えられたものと思っております。

ロータリーにおける職業奉仕にも通じるものがあるかと自負してみたりです。

今後ともよろしく申し上げます。

7. 乾杯 兼子展世会員



只今乾杯のご指名を戴きましたが、その前に一言。

かつての旧制第一高等学校の寮歌の冒頭に、嗚呼玉杯に花受けて緑酒に月の影宿し・・・と謳われておりますが、さて、その玉杯とか緑酒とは如何なる事でありましょうか。玉杯とは玉石とか貴石乃ち宝石類で作られた物を言うのであります。では、緑酒とは何かでありますか、これは最高の美酒(旨酒)を指し示すものであります。何故これを緑酒と言うのでありましょうか、このことは総て中国の故事に由来するものであります。

最高の栄誉を勝ち取った時、乃ち往古中国の科挙と言う官吏登用試験に艱難辛苦を乗り越えて見事合格した時、勝者を祝う最高のもてなしとして翡翠の酒杯に美酒を汲み翡翠の緑色に映える旨酒で祝ったと言う往古の中国故事の伝承と伝えられております。

それでは、それぞれの皆様の手をしている杯が翡翠であると心得て、本日の主賓であります橋場先生受賞の栄誉をお祝い申し上げ、皆様共々声を大にして僭越ながら乾杯の音頭をとらせて戴きます。（一同乾杯）

8. 祝宴

9. ソング「手に手つないで」 原誠ソングリーダー

10. 万歳 倉田秀伸会員

11. 閉会の辞 矢島宏会員



次回例会

3月7日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

次期委員会構成の発表